

**量子技術イノベーション戦略の  
戦略見直し検討ワーキンググループ（第1回）議事要旨**

1. 日時 令和3年10月27日（水） 12:00～13:00
2. 場所 Web会議（Teams）
3. 出席者（敬称略、順不同）

＜構成員＞ ◎主査

- ◎伊藤 公平 慶應義塾塾長
- 東 浩司 日本電信電話株式会社物性科学基礎研究所特別研究員
- 甲斐 隆嗣 株式会社日立製作所社会イノベーション事業推進本部  
事業戦略推進本部公共企画本部本部長
- 小柴 満信 J S R 株式会社名誉会長
- 小松 利彰 東京海上日動火災保険株式会社公務開発部長
- 佐々木雅英 情報通信研究機構量子 ICT 協創センター研究センター長
- 佐藤信太郎 富士通株式会社量子コンピューティング研究センターセンター長
- 島田啓一郎 ソニーグループ株式会社特任技監
- 島田 太郎 量子技術による新産業創出協議会実行委員長
- 中村 泰信 理化学研究所量子コンピュータ研究センターセンター長
- 武田俊太郎 東京大学准教授
- 西原 基夫 日本電気株式会社取締役執行役員常務兼 C T O
- 藤井 啓祐 大阪大学大学院基礎工学研究科教授
- 松岡 智代 株式会社 Q u n a S y s C O O
- 水林 亘 産業技術総合研究所新原理コンピューティング研究センター  
超伝導量子デバイスチーム研究チーム長
- 村井 信哉 東芝デジタルソリューションズ株式会社シニアフェロー

＜政府関係者（関係行政機関の職員）＞

- 高原 勇 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官
- 増田幸一郎 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局政策企画調査官
- 小川 裕之 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画官／総務省国際戦略局技術政策課  
研究推進室長
- 迫田 健吉 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画官／文部科学省研究振興局量子研  
究推進室長
- 戸田 始秀 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画官／経済産業省産業技術環境局研  
究開発課未来開拓研究統括戦略官
- 酒井 壮士 内閣府知的財産戦略推進事務局参事官補佐
- 山野 哲也 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ参事官
- 三木 康平 金融庁総合政策局総合政策課総合政策調整官
- 高江 慎一 厚生労働省大臣官房厚生科学課研究企画官
- 森久保 司 国土交通省大臣官房技術調査課環境安全・地理空間情報技術調整官
- 伊崎 朋康 国土交通省総合政策局技術政策課技術開発推進室長
- 南 亜樹 防衛装備庁技術戦略部技術戦略課技術企画室長
- 嶋田 義皓 科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー

#### 4. 議事

1. 量子技術イノベーション戦略の戦略見直し検討ワーキンググループの進め方
2. 今後のあるべき将来像やQXの位置づけについて
  - (1) 研究開発や産業の動向について
    - 嶋田 義皓 科学技術振興機構 フェロー
    - 島田 太郎 量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR) 実行委員長
  - (2) 今後のあるべき将来像やQXの位置づけについて  
出席委員の自己紹介及び問題意識や将来像に対する意見等

#### 5. 配布資料

- 資料 1-1 量子技術イノベーション戦略の戦略見直し検討ワーキンググループの進め方  
資料 1-2 戦略見直し検討WGの進め方等について (案)  
資料 2 量子技術の研究開発・政策動向 (JST 嶋田フェロー資料)  
資料 3 量子技術イノベーション戦略の戦略見直し検討WG(第1回) (Q-STAR 島田実行委員長資料)  
参考資料 1 量子技術イノベーション戦略の戦略見直し検討ワーキンググループについて  
参考資料 2 量子技術イノベーション戦略の戦略見直し検討ワーキンググループ概要

#### 6. 議事要旨

議事 1 量子技術イノベーション戦略の戦略見直し検討ワーキンググループの進め方  
事務局が、資料 1-1、1-2 を用いて、本会議で議論すべき論点や進め方等を説明した。

##### 議事 2 (1) 研究開発や産業の動向について

JSTの嶋田フェローが、資料 2 を用いて、国内外の量子技術に関する研究開発動向、政策動向について説明した。

島田構成員が、資料 3 を用いて、量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR)の設立の経緯や活動の範囲、海外の産業界コンソーシアムの動向等について説明した。

##### 議事 2 (2) 今後のあるべき将来像やQXの位置づけについて

構成員が一人ずつ自己紹介し、問題意識や将来像に対する意見等を発言した。

以上